

小型電気温水器 (自動水栓セット)

EHMN-CA3SC型/EHMN-CA3SD型
EHMN-CA3ECSC型/EHMN-CA3ECSD型

商品の機能が十分発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
この説明書は、施工完了後、お客さまにお渡しください。
また定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。



施工時には必ずお守りください

以下は安全のための注意です。施工前に必ず読み、施工時に必ずお守りください。
この説明書では、誤った施工による事故を未然に防ぐため、工事者または使用者の安全に関する注意事項にマークをつけて表示しています。
マークの意味は次の通りです。施工前によく読み正しく施工してください。

●用語および記号の説明

	警告	作業を誤った場合に、設置作業者が、又は設置工事の不具合によって人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
	注意	施工を誤った場合に、人が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
		「注意しなさい!」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
		「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
		「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)
		「必ずアース接続をしなさい!」

警告

- アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者(電気工事士)」によるD種接地工事(100Ω以下)を行ってください。また漏電遮断器を設置してください。
※故障や漏電時に感電の恐れがあります。
- 使用する電源、消費電力を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。
※火災の原因となります。
- 屋外には設置しないでください。
- 屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。
※故障や感電の原因となります。
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理は行わないでください。
※火災や感電の原因となります。
- 内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
※感電や火災の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。
- 水道水(水道事業者が供給する上水)以外の水を使用しないでください。
※早期に機器が破損し、感電・漏水の原因となります。

注意

- 必ず機器内のタンクを満水にしてから、運転スイッチを「入」にしてください。
※機器の破損やヤケドの恐れがあります。
- 機器を横にしたり、上下を逆にした状態で設置しないでください。
- 車両や船舶内に設置しないでください。
※機器の故障、ヤケド、漏電、漏水の恐れがあります。
- この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はしないでください。
※機器が破損し、漏水の恐れがあります。
- この機器は、給水圧力0.1(流動時)~0.75MPa(静止時)の範囲でご使用ください。
※水圧が高い地域に設置した場合、止水時に缶体内部の水圧が高くなり、膨張水口から水がふき出し続ける恐れがあります。
- 膨張水口からの膨張水排水ホース(黒)は、確実に配管施工してください。
※漏水の恐れがあります。
- この機器の周囲温度が氷点下になるところには設置できません。
※機器やホースが凍結すると部品が破損し、漏水の恐れがあります。
- 新築・改修工事後や、水道断水の復旧後、必ず配管内の空気を抜いてください。
※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。
- 機器に強い力や衝撃を与えないでください。
※故障や漏水の原因となります。
- 排水器具の下流側の排水管にトラップ構造を設けないでください。
※ダブルトラップで排水不良となり、排水器具から漏水する恐れがあります。
- エアチャージ栓に触れるときは、タンク内の湯を出し切って水になっていることを確かめてから行ってください
- 飲料用としては用いないでください。
(湯水切替スイッチ付きの場合のみ)うがいや歯みがきをする場合は、水側でご使用ください。

1.仕様

品番	EHMN-CA3SC1 EHMN-CA3SC2 EHMN-CA3SD1 EHMN-CA3SD2	EHMN-CA3ECSC1 EHMN-CA3ECSC2 EHMN-CA3ECSD1 EHMN-CA3ECSD2	EHMN-CA3SC3 EHMN-CA3SD3	EHMN-CA3ECSC3 EHMN-CA3ECSD3
本体寸法(突出部寸法含む)	幅214mm×奥行167mm×高さ376mm			
本体質量(満水時)	約5.0kg(約8.0kg)			
給水方式	元止め式			
使用水圧範囲	0.10MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)			
使用可能雰囲気温度	0~40℃(ただし凍結しないこと)			
定格電圧	AC100V(50/60Hz)			
消費電力	本体:700W 水栓:0.2W(待機)~1.4W	本体:700W 水栓:0.3W(待機)~1.5W		
出湯温度	約36℃※(ちょうどいいダイヤルで調整可能)	湯側:約36℃※(ちょうどいいダイヤルで調整可能) 水側:給水温度		
電源コード	有効長さ0.7m 接地極付きタイプ			
タンク容量	約3L			

品番	EHMN-CA3SC1-L EHMN-CA3ECSC1-L	
本体寸法(突出部寸法含む)	幅214mm×奥行167mm×高さ376mm	
本体質量(満水時)	約5.0kg(約8.0kg)	
給水方式	元止め式	
使用水圧範囲	0.10MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)	
使用可能雰囲気温度	0~40℃(ただし凍結しないこと)	
定格電圧	AC100V(50/60Hz)	
消費電力	本体:300W 水栓:0.2W(待機)~1.4W	
出湯温度	約36℃※(ちょうどいいダイヤルで調整可能)	
電源コード	有効長さ0.7m 接地極付きタイプ	
タンク容量	約3L	
吐水口	感知方法	距離測定式赤外線センサー
	感知距離	自動設定(感知距離自動調整機能内蔵)
	感知エリア幅	φ10mm以下
	取付条件	水栓取付穴径:φ25~38mm(排水栓なしタイプ) φ30~38mm(排水栓ありタイプ) カウンター厚:5~30mm

※給水温度15℃、ダイヤル位置高温側の場合

■詳しくは取扱説明書を参照ください。

2. 同梱品一覧

施工前に同梱部品を確認してください。

<p>※図はEHMN-CA3ECSC1-300C</p>	固定金具A : 1個 固定金具B : 1個 金具取付ねじ(φ4×10) : 2本 金具取付ねじ(黄色)(φ4×10) : 2本 固定用ねじ(φ4×40) : 4本 スプリング : 2本 結束タイ : 3本 型紙 : 1枚	<p>説明書セット</p> <p>お客様にお渡しください</p>
	<p>固定金具 A 固定金具 B</p>	

専用吐水口部

EHMN-CA3(EC)SC1(-L)-300C	EHMN-CA3(EC)SC2-301	EHMN-CA3(EC)SC3-303
<p>ポップアップなし</p>	<p>ポップアップあり 手動スイッチ付</p>	<p>ポップアップあり 手動スイッチ付 湯水切替スイッチ付</p>
EHMN-CA3(EC)SC1(-L)-300	EHMN-CA3(EC)SD2-311C	EHMN-CA3(EC)SD3-313C
<p>ポップアップあり</p>	<p>ポップアップなし 手動スイッチ付</p>	<p>ポップアップなし 手動スイッチ付 湯水切替スイッチ付</p>
EHMN-CA3(EC)SC1-320C	EHMN-CA3(EC)SD2-311	EHMN-CA3(EC)SD3-313
<p>ポップアップなし</p>	<p>ポップアップあり 手動スイッチ付</p>	<p>ポップアップあり 手動スイッチ付 湯水切替スイッチ付</p>
EHMN-CA3(EC)SC1-320	EHMN-CA3(EC)SD2-321	EHMN-CA3(EC)SD3-323
<p>ポップアップあり</p>	<p>ポップアップあり 手動スイッチ付</p>	<p>ポップアップあり 手動スイッチ付 湯水切替スイッチ付</p>
EHMN-CA3(EC)SC1-320HC		
<p>ポップアップなし</p>		

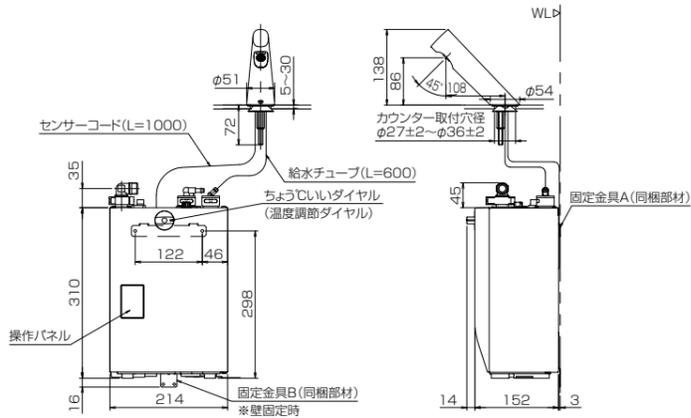
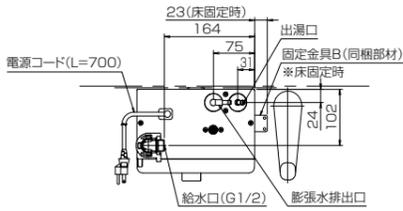
3. 別売品一覧 ☆は必要別売部品

品名	品番	備考	外観概略
☆排水器具	EFH-6	洗面カウンター用 φ32排水管用 φ25排水管用	<p>膨張水排水ホース(黒) (内径φ7×1000mm)入り</p>
膨張水排水ホース(黒)	EFH-1M	内径φ7mm×1m 黒色	長さが足りない場合に手配します。ホースバンドは排水器具に同梱のものをご使用ください。
排水曲り管(φ32mm)	EFH-HM1	排水芯から壁面までの距離が短い場合に使用(Pトラップ用)	<p>【設置条件】 洗面器排水芯から壁面の距離 ・EFH-HM1:140~223mm ・EFH-HM1-25:160~233mm</p>
排水曲り管(φ25mm)	EFH-HM1-25		

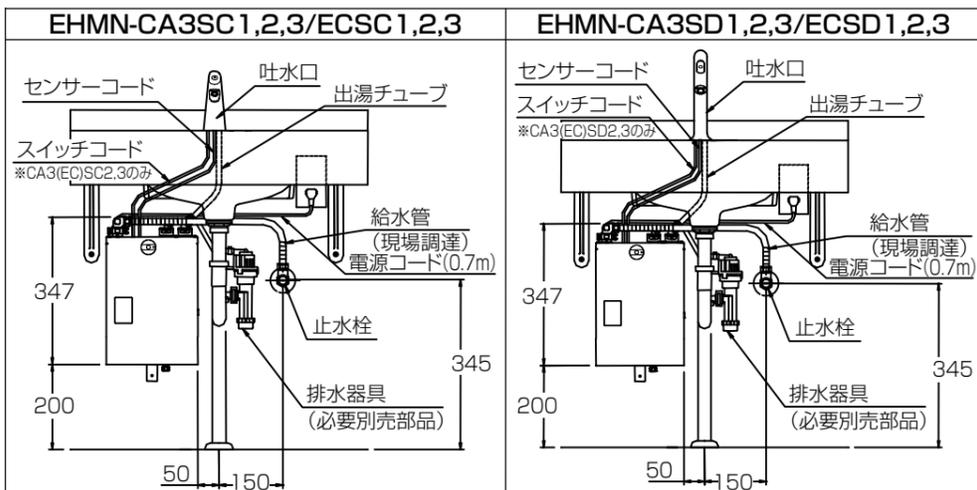
その他現場での調達品

ステンレスフレキシブル管(1/2B、呼び径13mm)、1/2B耐熱シートパッキン、ニップル、シールテープ

4. 寸法図



5. 標準施工図例



6. 施工前の注意

取付けに必要な工具

- 取付けにはプラスドライバー、モンキーレンチ、プライヤー、マイナスドライバー、下記の専用工具が必要です。
EHMN-CA3(EC)SC1-30*……専用工具「KG-23」もしくはソケットレンチ（呼び13）
EHMN-CA3(EC)SC1-31*、32*……専用工具「KG-4」（対辺34、ポップアップなしの場合）
専用工具「KG-9」（対辺38、ポップアップありの場合）

取付可能洗面器

- 水栓を取り付ける陶器が総合カタログの『自動水栓と洗面器・手洗器の組合せ一覧表』に記載があることを確認してください。
※記載のない洗面器・手洗器へ取り付けると、自動水栓が誤作動する場合があります。

壁に設置する場合の注意

- 落下防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件をお守りください。

【乾式壁の場合】

- ・壁面への取付けは同梱の固定ねじを使用してください。
- ・ねじ込み深さが20mm以上になるように取付木（補強木）を設けてください。
- ・石こうボード等のボード張りにはタッピンねじはききません。
必ずあらかじめ壁裏に取付木を入れ、ねじ込み深さを確保してください。
（ボード張りの厚さは12.5mm以下を想定しています。）

【湿式壁の場合】

- ・取付部材として固定ねじ（呼び径4×40mm）にあうプラグを準備してください。
- ・壁仕上材（モルタル、モルタル+タイル等）の厚さは20mm以下としてください。
- ・ALC板やコンクリートブロックの中空部にはAYボルトは固定できません。
- ・木すり下地、ラスボード下地への取付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

床に設置する場合の注意

- 転倒防止のため、取付部材や床面の構造などについて以下の取付条件をお守りください。

【設置する床がコンクリートの場合】

- ・固定ねじ（呼び径4×40）にあうプラグを準備してください。

【設置する床が木材の場合】

- ・必ず厚さが15mm以上の補強木（合板）に固定してください。

その他の注意点

- ・開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように注意してください。
- ・機能本体部は必ず正しい向きに取り付けてください。
※横にしたり、逆さに取付けると誤作動の原因となります。
- ・電気製品ですので機能本体部に水をかけないように注意してください。
- ・電源コードの長さは0.7mです。コンセントは電源コードの届く範囲で設置してください。
- ・センサーの表面を傷つけないように十分ご注意ください。
- ・水栓の機能を十分に発揮させるため、必要な場合定流量弁を取り外し、流量調節栓を絞ってください。（「9-3 流量の確認」の項参照）
- ・インバーター照明により誤作動する場合があります。
- ・直射日光が当たらないところに設置してください。

7. 取付け手順

※電気温水器を取り付ける前に、洗面器、カウンターや水栓金具をそれぞれの施工説明書に従って取り付けてください。

<取付けの流れ>

- ①専用吐水口部の取付け
- ②排水金具の取付け
- ③機器の設置
- ④機器への配管
- ⑤膨張水排水ホース（黒）の接続

※取付け手順は動画でもご確認ください。



離隔距離について

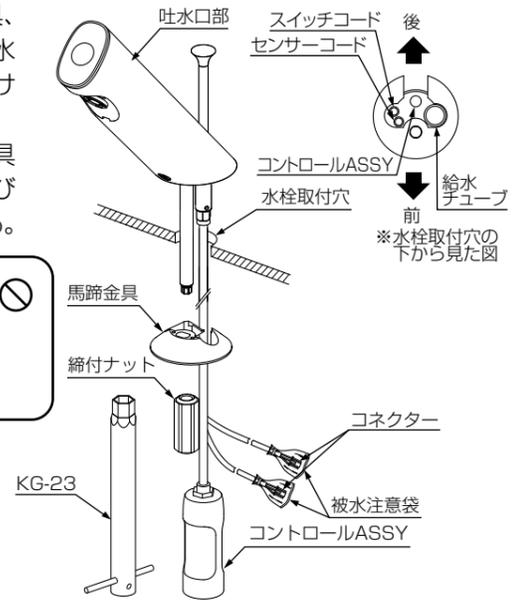
この温水器は、「消防法告示第一号（対象火気設備等及び火気器具等の離隔距離に関する基準）」に適合しています。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。さらに修理点検の際に必要なメンテナンススペースも確保してください。

消防法基準適合組込型					
可燃物からの離隔距離 (cm)					
上方	左方	右方	後方	下方	前方
0	0	0	0	0	0

7-1. 専用吐水口部の取付け

■EHMN-CA3SC1、2、3 EHMN-CA3ECSC1、2、3の場合

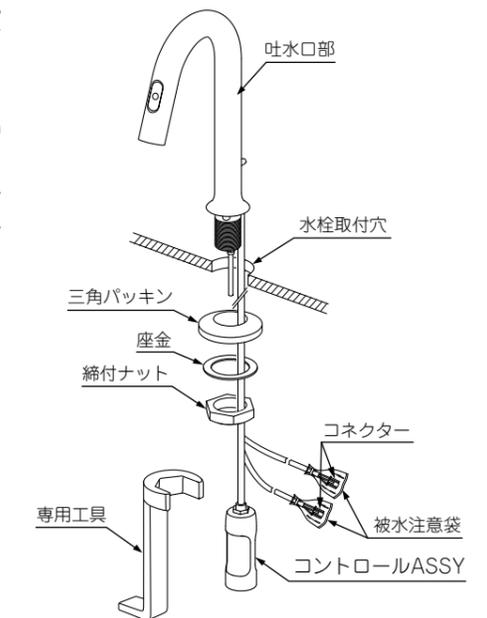
吐水口部を水栓取付穴に挿入し、馬蹄金具、締付ナットを吐水口部に取り付け、給水チューブ、コード類の位置を水栓取り付け穴の下から確認し、手締めで仮固定する。吐水口の向きを調整し、専用工具「KG-23」もしくはソケットレンチ（呼び13）を用いて吐水口部をしっかりと固定する。



注意 コネクターの被水注意袋は、機能部に接続するまで取り外さないでください。
※コネクターが傷つき、故障の原因になります。

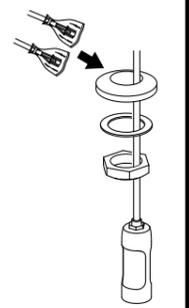
■EHMN-CA3SD1、2、3 EHMN-CA3ECSD1、2、3の場合

吐水口部を水栓取付穴に挿入し、三角パッキン、座金、締付ナットを吐水口部に取り付け手締めで仮固定する。吐水口の向きを調整し、専用工具を用いて吐水口部をしっかりと固定する。専用工具はポップアップなしの場合「KG-4」、ポップアップありの場合「KG-9」を用いる。



ポイント

ポップアップありの場合、コントロールASSYを先に締付ナットに通してから、コネクターなどを通す。



注意 コネクターの被水注意袋は、機能部に接続するまで取り外さないでください。
※コネクターが傷つき、故障の原因になります。

7-2. 排水金具の取付け（ポップアップありの場合）

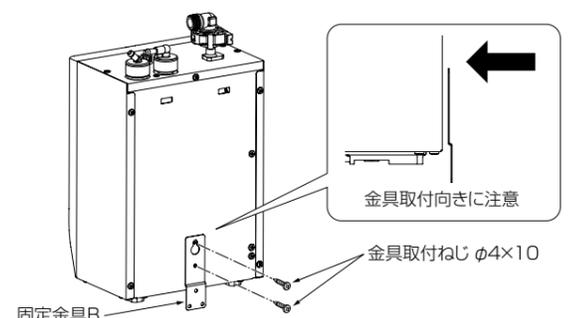
排水金具に同梱の施工説明書に従い、コントロールASSYを排水金具に接続する。

7-3. 機器の設置

注意 機器の前扉を壁面に向けて設置しないでください。
※メンテナンスができなくなります。

【壁に設置する場合】

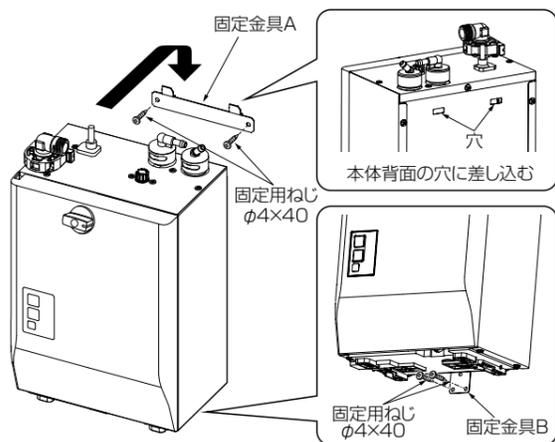
- ①機器に固定金具B（同梱品）を金具取付ねじφ4×10（2本）で固定する。



注意 ●ねじの取付け、取外しは手回しドライバーで行ってください。
※インパクトドライバー等を用いると、ねじ部の破損の恐れがあります。
●固定金具Bは表と裏を間違えないようにしてください。
●ねじの種類を間違えないでください。
※機器が破損する恐れがあります。

②同梱の型紙を用いて、壁面に固定金具Aを固定用ねじφ4×40(2本)で固定する。

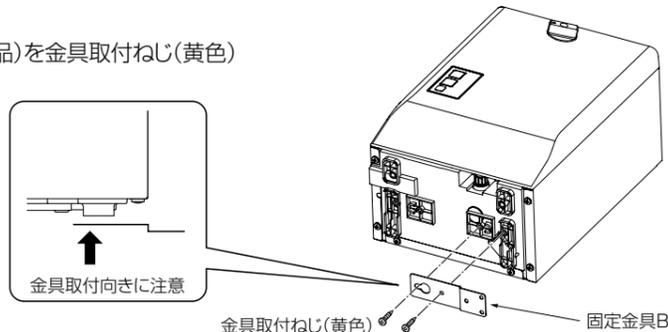
③固定金具Aに機器を引っ掛け、固定金具Bを固定用ねじφ4×40(2本)で固定する。



注意 機器が水平になるように取り付けてください。

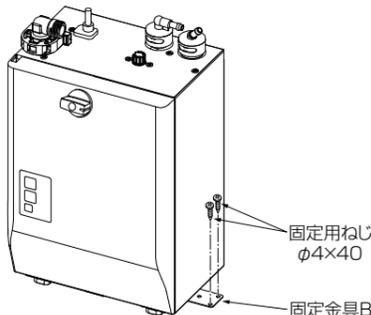
【床に設置する場合】

①機器に固定金具B(同梱品)を金具取付ねじ(黄色)(2本)で固定する。



注意 ●ねじの取付け、取外しは手回しドライバーで行ってください。
※インパクトドライバー等を用いると、ねじ部の破損の恐れがあります。
●固定金具Bは表と裏を間違えないようにしてください。
●ねじの種類を間違えないでください。
※機器が破損する恐れがあります。

②床面の補強木位置を確認し、付属の固定ねじφ4×40(2本)で固定する。



注意 補強木下に使用者が触れる可能性がある空間がある場合には、ねじの先端が飛び出さないよう、用意する合板の厚さやねじ止めする位置に注意して施工してください。

7-4. 機器への配管

この機器は、0.75MPaを超える高水圧地域では使用しないでください。
※機器が破損し、漏水の恐れがあります。

注意 ●ステンレスフレキシブル管の接続は必ずスパナ2丁を使用するなどして、取り付ける相手の機器に無理な力がかからないよう注意して接続してください。
また接続部には、必ず耐熱のシートパッキン(以下パッキンと呼ぶ)を使用して接続してください。
※漏水の恐れがあります。
●給水の配管はそれぞれ1m以内にしてください。
※水栓から出る湯(水)の勢いが著しく弱くなる場合があります。
●機器を接続する前に、30L程度水を流し、配管内のゴミ等を取り除いてください。
※機器にゴミが侵入し、故障の恐れがあります。
●機器への配管は、市販のステンレスフレキシブル管(1/2B:呼び径13mm)を使用してください。
●機器を接続する前に、配管の漏水・耐圧検査を実施してください。

①出湯チューブが折れ曲がらないように必要な長さを確認し、切断する。

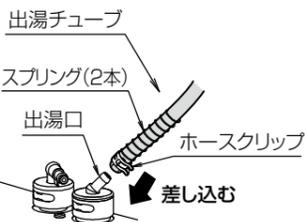
ポイント

出湯チューブは水平に切断してください。



②出湯チューブに付属のスプリング(2本)を通した後、付属のホースクリップを通してから出湯口の奥まで差し込む。

注意 出湯チューブが折れ曲がらないよう、付属のスプリングを必ず取り付けてください。
※漏水の原因となります。
出湯チューブを出湯口から外す場合、カッターは使用しないでください。
※出湯口をキズつけ、漏水の原因となります。

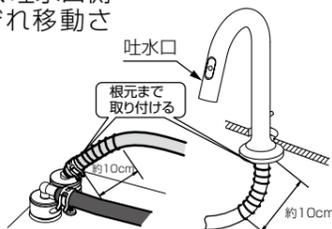


③②で通したホースクリップで固定する。

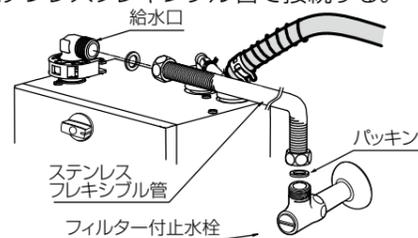
④膨張水口に膨張水排水ホース(黒)を差し込み、排水器具に付属のホースバンドで固定する。



⑤スプリングの位置を出湯口側、吐水口側へそれぞれ移動させる。

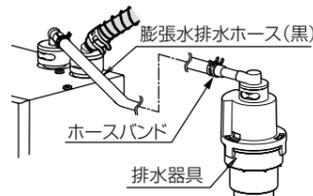


⑥フィルター付止水栓と機器の給水口とをステンレスフレキシブル管で接続する。



7-5. 膨張水排水ホース(黒)の接続

膨張水排水ホース(黒)を、排水器具に接続する。



注意 膨張水排水ホース(黒)は確実に配管施工してください。
※漏水の恐れがあります。

●別売の排水器具を準備してください。
●排水器具の取付けは、排水器具付属の施工説明書をご覧ください。
●必ずホースバンドを取り付けてください。

●膨張水排水ホース(黒)の長さは1m以内としてください。
●排水器具のホース接続口が機器の膨張水口より高い位置にあっても、膨張水の排水に影響ありません。

7-6. センサーコードスイッチコードの接続

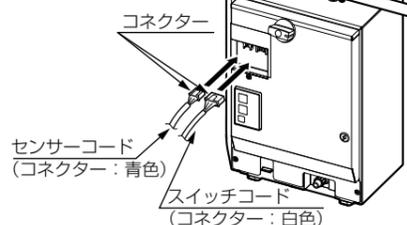
①化粧カバーを外す。

②手前に引いて外す

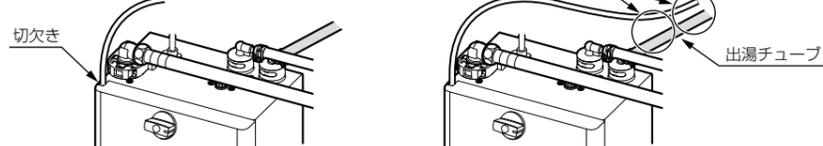
①化粧カバー下に手をかける

③コードを挟み込まないように、化粧カバーを取り付け上部の切欠きからコードを取り出す。

②本体正面のコネクターへ、吐水口のセンサーコード(スイッチコード)のコネクターを接続する。



④付属の結束タイで、出湯チューブと束ねる。



注意 コードを挟み込まないように取り付けてください。

8. 電気工事

●漏電遮断器を必ず設置してください。
●必ずアースを接続してください。
●アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者(電気工事士)」によるD種接地工事(100Ω以下)を行ってください。
※故障や漏電時に感電の恐れがあります。
注意 ●内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
●内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せず専用補修部品と交換してください。
●使用する電源・ヒーター能力(定格消費電力)を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。また電源プラグの変更は絶対に行わないでください。
●コンセントの電圧を必ず確認してください。100V用コンセントに200Vが供給されている場合は、電気工事をやり直してください。
※感電や火災の原因となります。

①本機器専用に「接地極付コンセント」を用意する。

機器の取付位置より0.7m以内の所にコンセントを設けてください。

②コンセントにD種接地工事を行う。

品番	定格電圧	ヒーター能力	コンセント形状	推奨コンセント(パナソニック製)
EHMN-CA3SC1、2、3 EHMN-CA3ECSC1、2、3 EHMN-CA3SD1、2、3 EHMN-CA3ECSD1、2、3	AC100V	700W		WN1101 WF3002B/WK WF3003B/W
EHMN-CA3SC1-L EHMN-CA3ECSC1-L		300W		

注意 形状の違うコンセントが取り付けられている場合は、コンセントを取り替えてください。機器の電源プラグの変更はできません。

9. 施工後の確認・処置

9-1. 膨張水排水ホース(黒)の確認

機器の取付けが完了したら、以下の点を確認して、必ず膨張水排水の配管が行われていることを確認してください。

- ①専用の排水器具が取り付けられていること。
- ②排水器具が目視で垂直に取り付けられていること。
- ③排水器具と機器の膨張水口とが確実に接続されていること。

9-2. 通水確認・タンクへの給水

①給水管・出湯チューブが確実に接続されていることを確認する。

②止水栓を開ける。
③運転スイッチが「切」の状態を確認してから、電源プラグをコンセントに確実に差し込む。

④EHMN-CA3SC3/SD3/ECSC3/ECSD3の場合は吐水口にある切替スイッチの湯側が点灯していることを確認する。
点灯していない場合は湯水切替スイッチを押して湯側に切り替える。
※湯側で吐水を行わないと機器に給水されず空だきの原因となります。

⑤タンク給水スイッチを6秒以上長押しする。

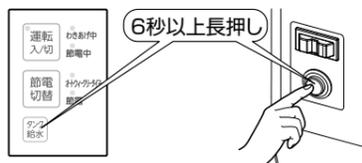
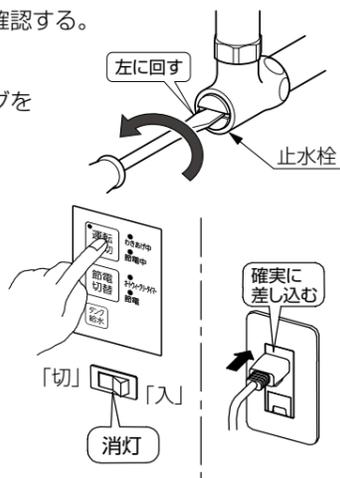
ポイント

タンクが満水になるまで約3分かかります。水の出方が安定するまで通水を続けてください。約10分間吐水が続くと、自動で止水します。

⑥吐水が安定したらタンク給水スイッチを再度押しして止水する。

ポイント

- センサーに手をかざしても通水しない場合は、センサーコードが確実に接続されているか確認してください。
- 節水のため定流量弁を内蔵していますので、一定以上の流量は出ません。
※EHMN-CA3SC1,2,3/ECSC1,2,3: 3L/分以下
※EHMN-CA3SD1,2,3/ECSD1,2,3: 5L/分以下



9-3. 流量の確認

低圧の現場で流量が不足する場合は、以下の手順で定流量弁を取り外して、止水栓にて流量調整を行います。

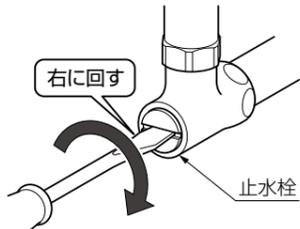
●流量の目安

【EHMN-CA3SC1,2,3/ECSC1,2,3】
500mLの容器をいっぱいにするのに約10~15秒

【EHMN-CA3SD1,2,3/ECSD1,2,3】
500mLの容器をいっぱいにするのに約6~9秒

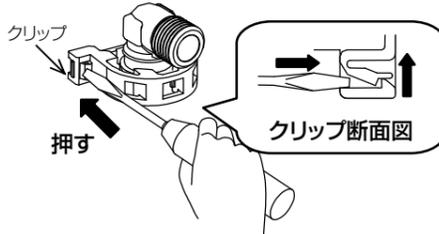
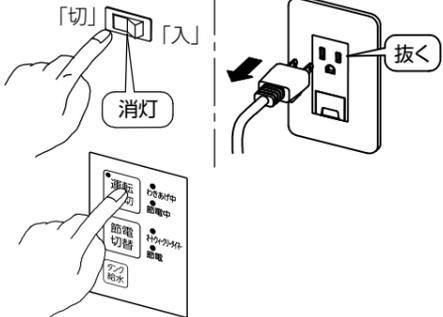
①止水栓を閉める。

②吐水口部に手を差し出し、センサーを感知させ水が出ないことを確認、圧抜きをする。



③運転スイッチを「切」にして、電源プラグを抜く。

④給水口を固定しているクリップを取り外す。クリップを外す際には、マイナスドライバーを差し込んだ後、右図の矢印方向に押しよにして外す。



⑤給水口を外して、中のストレーナーを取り外す。

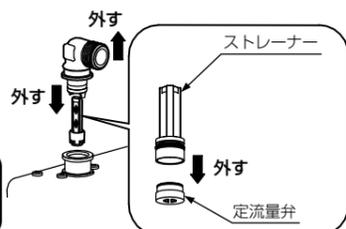
⑥ストレーナー内の定流量弁を取り外す。

⑦取り外した時と逆の手順でストレーナー、給水口、クリップを取り付ける。

ポイント

クリップ取付後に、クリップを1回転させて確実に取り付いていることを確認してください。

⚠️ **注意** ストレーナーは必ず取り付けてください。
※故障の原因となります。



⑧電源プラグを差し込む。

⑨止水栓を回して、上記「流量の目安」に流量を調整する。

9-4. ストレーナーの掃除

初期通水後のゴミを取り除くため、ストレーナーの掃除を行う。

①「9-3. 流量の確認」を参照して、給水口からストレーナーを取り外す。

外すときに少量の水がこぼれますので取外し部にタオル等をあてがいがらストレーナーを取り外してください。

②ストレーナーの網目に詰まったゴミを洗い流す。

ストレーナー内部に定流量弁が入っている場合は、定流量弁を紛失しないように注意してください。

③取り外したときと逆の手順でストレーナー、給水口、クリップ及びカバーを取り付ける。

・クリップ取付後に、1回転させて確実に取り付いていることを確認してください。
・定流量弁が取り外されている場合は、止水栓にて流量調整を行ってください。

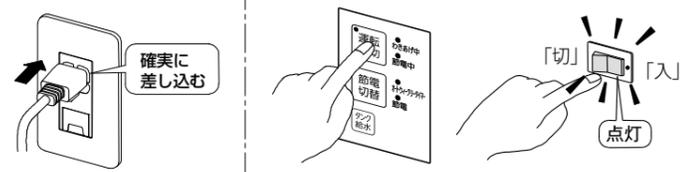
⚠️ **注意** クリップは確実に取り付けてください。
※漏水の原因となります。

9-5. 機器への通電

⚠️ **注意** 必ず機器内のタンクを満水にしてから、運転スイッチを「入」にしてください。
※機器の破損や、ヤケドの恐れがあります。

①電源プラグをコンセントに確実に差し込む。

②運転スイッチを「入」にする。



電源プラグを差し込むとただちに感知距離を自動設定します。(約10秒間)

※陶器内に物が置かれていたり、センサーに手をかざされたりすると感知距離が最適に設定されません。
※感知距離を再設定したい場合は、電源プラグを一度抜き再度接続してください。

運転スイッチを「入」にしても湯にならない場合

安全装置が作動していることが考えられます。以下の手順で安全装置をリセットしてください。

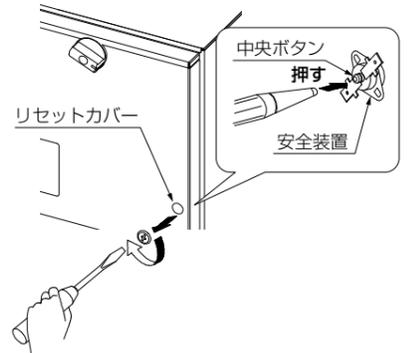
①運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。
②前扉にあるリセットカバーをマイナスドライバーなどで取り外す。
③ボールペンの先などで、安全装置の中央ボタンを押す。
④取外しと逆の手順で、リセットカバーを取り付ける。

【取付け・取外し時の注意】

取外し時：リセットカバーを反時計回りに回すと、約1回転で外れます。

取付け時：リセットカバーを時計回りに回すと、約1回転で取り付きます。

※リセットカバーの締め込みすぎに注意してください。

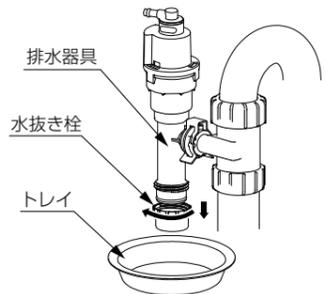


⚠️ **注意** 運転スイッチが「入」のままで、リセットカバーを外さないでください。
※感電の恐れがあります。

10. 水抜き方法

■排水器具の水抜き

排水器具の水抜き栓を開ける。
・水抜き前には、排水器具下部に水を受けるトレイ等を準備してください。
・水抜き後には、必ず水抜き栓を取り付けてください。

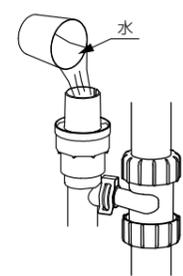
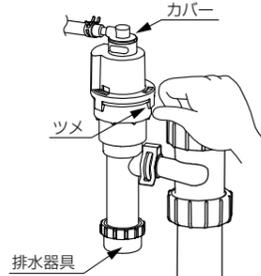


■排水器具のトラップ部への水の補給方法

【トラップ部への水の補給手順】

①排水器具のカバーを取り外す。

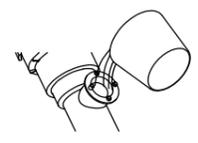
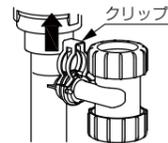
②コップ等でトラップ部に水を補給する。



■排水器具上部にスペースがなく、カバーを取り外せない場合

①クリップを外し、トラップを取り外す。

②コップ等でトラップ部に水を補給する。



11. 施工後の最終確認

全ての作業完了後、下記の表に従って最終確認をしてください。

確認事項	確認内容	チェック欄
電源電圧	施工した機器に合った電圧がコンセントに供給されているか	
排水器具	必要別売部品の排水器具が施工されているか	
漏水	内部の配管・タンクや配管接続部から漏水がないか	
流量	水栓の施工説明書に合った流量になっているか ※流量が少ない場合は、ストレーナーの掃除をする	
保証書	必要な内容を記載したか	

確認後、取扱説明書、施工説明書、排水用ビニールホース（透明）をお客さまにお渡しください。

株式会社 LIXIL お問合せ先

お客さま相談センター商品相談窓口

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)